

令和6年3月24日 垂井町街角案内の会 町外研修

場所 滋賀県草津市 内容 草津宿の研修と草津市観光ボランティアガイド協会との交流

行程 JR垂井駅8時43分発 JR草津駅9時51分着 草津宿10時

一里塚→草津川跡地公園→高札場→追分道標→草津宿本陣→街道交流館→

太田酒造・太田道灌蔵→立木神社→くさつ夢本陣→昼食(12:20~13:00)→交流会(13~14:30)

→JR草津駅15時21分発→JR垂井駅16時27分着

草津駅前にあった石碑



草津宿は東海道53次の52番の宿

草津市の人口は14万強

立命館びわこ・くさつキャンパスがあり、活気が出てきている。

(グラウンドの地下に史跡がある)



東海道と中山道の分岐・合流点の道標(大路井にある)



「右東海道いせみち左中仙道美のち」と刻まれた石造道標。かつて草津宿の追分見付と呼ばれていたこの地に火袋付き常夜灯が今に残る。



③草津宿本陣（国史跡）

宿場町草津のシンボルで、参勤交代の大名・幕府役人や勅使・宮家・門跡が利用した特別な休泊施設です。敷地全体が完全な姿で残る全国でも稀有な存在です。

元禄年間から明治初めまでの大福帳が残存し、歴史上有名な人物の宿泊記録が見られます。

草津宿本陣

田中七左衛門家は、寛永12年(1635)に本陣職を拜命したとされ、明治3年(1870)に本陣・脇本陣の名目が廃止になるまでの約240年間にわたって本陣職を勤めました。また、田中家は副業で材木商を営んでいたことから、「木屋本陣」とも呼ばれました。

明治時代以降、七左衛門本陣の広大な屋敷は栗太郡役所や中央公民館として利用され、その都度増改築が行われましたが、田中家によって大切に受け継がれ、昭和24年(1949)、江戸時代の旧姿をよくとどめているとして国の史跡に指定されました。



〔弘化3年(1846)の屋敷絵図をもとに作成〕

公開エリア見取図

本陣所蔵屋敷絵図にみる建物データ

- ・敷地1305坪・建坪468坪
 - ・表間口14間半(約26m)×奥行62間(約111m)
 - ・部屋数39室・268畳半
- ※面積で言うと、敷地は25mプールが約13.3個分。建坪は4.8個分。



楽座敷
平成26年、史跡草津宿本陣の隣接地に開館。本陣ゆかりの品々を展示しています。



〔慶応元年(1865)大福帳(草津宿本陣蔵)〕

大福帳
宿帳に相当する大福帳には、忠臣蔵で有名な吉良上野介・浅野内匠頭、皇女和宮、新選組など歴史上著名な人物の宿泊記録がみられます。



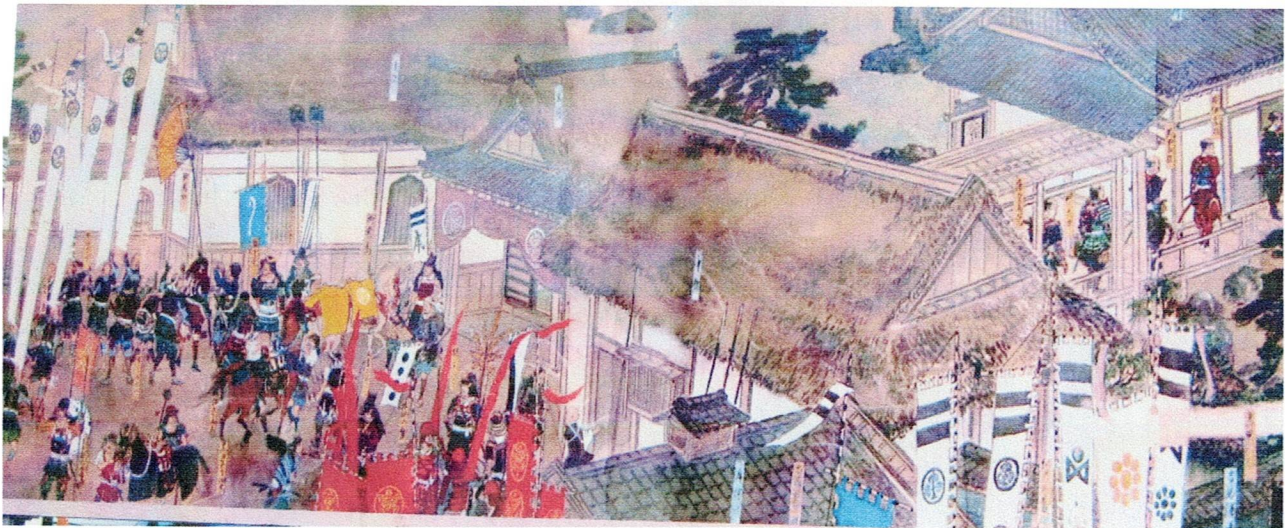
上段の間
大名など主客の休泊に使われた、本陣の中で最も格調の高い部屋。



台所土間
休泊者の食事を調理した炊事場。竈や井戸などを備えています。



湯殿
主客専用の風呂場。屋外で沸かした湯を運び入れました。

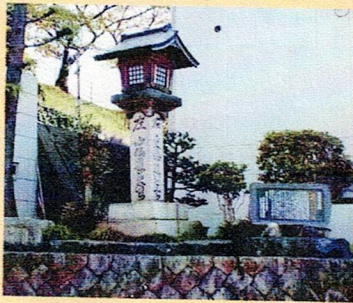


常善寺は慶長5年に関ヶ原合戦に勝利した徳川家康が上洛の途上に宿陣した草津随一の大寺。以後、徳川家康の庇護を受ける (常善寺の入口にある案内板)

～見どころ案内～

1

追分道標



「右東海道いせみち
左中山道美のち」と
刻まれた道標が建つ
この地は、東海道と
中山道のまさに分岐
・合流地点。かつて
草津宿の追分見付と
よばれていたこの地
に火袋付きの常夜灯
が今に残されています。

2

国指定史跡 草津宿本陣



東海道と中山道の合
流点であり、多くの
旅籠が軒を並べた草
津宿。そのシンボル
であり、大名などが
休泊したのが草津宿
本陣。現存する最大
級の本陣が大修理を
終え、当時の姿その
ままに甦りました。

多数の関札と、浅野内匠頭や吉良上野介が名を連ねる大福帳などにふれば、気分は江戸時代へとタイムスリップできそうです。

3

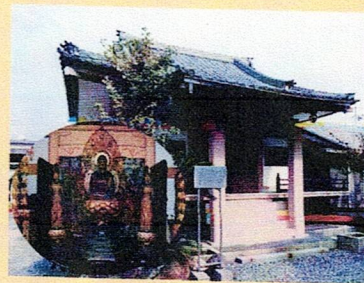
草津宿街道交流館



文化と情報が交流し
ていた宿場町・草津。
その賑わいを今に甦
らせた街道と宿場の
歴史館です。町並み
模型や街道双六、旅
衣装の体験コーナー
などでお楽しみくだ
さい。

4

常善寺



天平7(735)年、
僧良弁創建と伝えら
れる名刹で、慶長5
(1600)年に関ヶ
原合戦に勝利した徳
川家康が上洛の途上
に宿陣した草津随一
の大寺でした。時運
衰退し、かつての伽
藍を偲ぶことはでき

ませんが、現本堂に安置されている本尊阿彌陀如来坐像と両脇土像は宋様の名品で、重要文化財です。

5

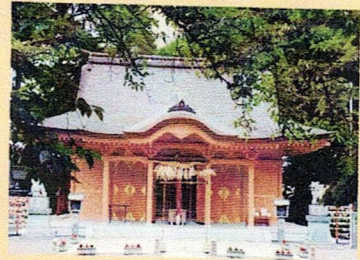
立木神社



東海道に面して鎮座し、古く
より交通安全厄除けの神社と
して信仰を集めています。境
内には県内最古の石造道標
(旧追分道標)が移設されて
います。5月の例祭にサンヤ
レ踊りが隔年奉納されます。
新聞学開祖・小野秀雄翁生誕
の地であり、石碑も建立され
ています。

6

小汐井神社

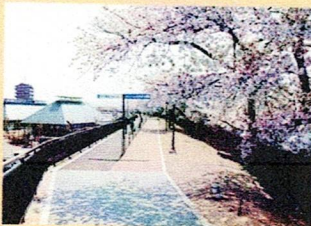


東海道・中山道を往
来する旅人にも厚い
信仰を受けた神社で、
境内には今も水が湧
き出ており、水天宮
をお祀りしています。
珍木 陰陽木があり、
願いを掛ければ縁が
結ばれ、夫婦和合し

円満になると伝えられています。秋の吉例祭に狐おどりが奉納されます。

7

草津川跡地公園 (de 愛ひろば)



全国的にも有名な草津の
天井川が平成29年4月に
緑あふれる公園として生ま
れ変わりました。春には桜
が美しく、散歩コースにも
最適。公園内にはレストラ
ンやカフェも営業しています。



草津市まちなか交流施設 くさつ夢本陣

(無料休憩所)



地域の皆さんや観光のお客
様が気軽に休憩していただ
ける場所です
休憩所のほか、観光ボラン
ティアガイドが常駐する観
光案内所・トイレ・授乳室
・コミュニティFM放送局が
あります。
集いの場としてご利用くだ
さい。